

情報公開原稿

アントラサイクリン／シクロホスファミド併用療法(AC、CEF 療法)施行乳がん患者からの外来化学療法ホットライン相談の実態調査

研究対象

2011年7月1日～2014年3月31日までの期間に、国立がん研究センター中央病院において、AC療法(ドキシソルビシン 60 mg/m²/シクロホスファミド 600 mg/m²併用療法)あるいはCEF療法(シクロホスファミド 500 mg/m²/エピルビシン 100 mg/m²/フルオロウラシル 500 mg/m²併用療法)による治療を行った乳がん患者さんの中で、外来化学療法ホットライン(HL)を利用した方を対象として調査を行います。

研究の意義・目的

外来化学療法において、多くの副作用は在宅で起こるため、患者さんに対して安全かつ適切な支援サービスが必要となります。その一環として、国立がん研究センター中央病院では、外来で抗がん剤治療を受ける患者さんを対象に、副作用などの相談窓口としてHLを設置し、直接相談に応じています。

乳がんに対するAC、CEF療法は主に外来で行われており、国立がん研究センター中央病院においてHL相談件数が多い治療内容です。また、薬剤治療パンフレットを独自に作成して、AC、CEF療法の開始時には薬剤師による初回指導を行っています。

今回の調査では、AC、CEF療法による治療を行った患者さんからのHL相談内容や対応などの実態を調査して、今後のHLや薬剤師による指導のより良い運用に繋げることを目的としています。

方法

対象患者さんの診療録より、患者さんの情報(性別、年齢、治療内容など)、HLへの相談事項(内容、時期、対応、結果など)について情報を収集します。また、薬剤師による抗がん剤初回指導の実施状況について調査します。

この調査では、患者さんに対し、インタビューや採血などの侵襲行為、その他新しいデータを収集するための介入は一切行いません。

個人情報保護に関する配慮

使用する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で取り扱われ、プライバシーは厳重に守られます。対象となる患者さんの識別は、本研究専用の別途割り当てられた識別番号を使って管理し、個人情報が院外に漏れないように取扱いを慎重に行います。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、下記までご連絡ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院 薬剤部 原 茉莉絵

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL: 03-3542-2511

FAX: 03-3248-0730